



高貴な桜「御衣黄」の植樹祭

2月18日(水)三加和温泉「あばかん家」の法面に桜の植樹が行われました。

これは熊本県建設業協会玉名支部が地元に根付く建設業という意味で、ボランティア活動の一環として実施しているもので、今回の和水町での植樹が4回目となります。植樹には玉名郡から集まったメンバー40人が参加し、桜苗21本を1本ずつ丁寧に植えていました。この桜は、「御衣黄」という珍しい桜で、花は、淡い緑色で部分的に濃緑色のすじが入り、終わりに近づくと薄いピンクに変わり中心部が紅色に変化するという特徴があるそうです。花が咲くようになるのが楽しみですね。植樹後は、ロマン館周辺のゴミ拾いも行われました。



▲一本ずつ丁寧に植えていただきました。

収穫が楽しみ…（肥後民家村の冬の里山体験）

2月15日(日)、地元の方から遠くは福岡市の方まで20人が参加し、肥後民家村でしいたけのコマうちとかっぽ飯つくり体験が行われました。

あらかじめ切ってあったクヌギの木にドリルで穴を開け、しいたけのコマを打ち込んでいきます。



▲おいしく炊けたかな!?



▲コマ打ちの様子

収穫までは1年半ほどかかるそうですが、みなさん大きなしいたけが実るのを楽しみに、ほた木を持って帰っていました。

その後、かっぽ飯つくり体験があり、竹の器で炊いたご飯とだんご汁など里山ならではのおいしい料理にみなさん満足そうでした。

第8回 玉名緑の少年団交流集会

2月22日(日)に玉名緑の少年団交流集会が開催されました。玉名地域の緑の少年団が一堂に会し、自然の中での学習や共同生活を通じて、互いに交流し、理解と連携を深め、緑を守り育てる豊かな人間性を持つ青少年の育成を図るために毎年開催しているもので、今年で8回目となります。

今年は6つの緑の少年団参加により、和水町の蜻浦地区で「植樹体験」、上和仁地区で「間伐体験」を行いました。

指導員の指導に真剣に耳を傾け、普段なかなか足を運ぶ機会のない山での慣れない林業体験に、子どもたちは苦戦しながらもいきいきと体験を楽しんでいました。途中雨が降る場面もありましたが、なんとか無事に山の手入れを終えることができました。

体験後は、それぞれの少年団ごとに活動体験の発表を行いました。発表では「樹の根っこがあって、穴を掘るのが難しかった。」「植えた樹が育つのが楽しみ。」などと様々な感想を聞くことができました。

今後、子ども達には森林環境に興味を持ち、それを守り、育てるという意識もって成長してもらいたいと感じました。



▲みんなそろって、ハイ・ポーズ!



▲植樹体験の様子

第3回和水町生涯学習推進大会

2月22日(日)午前9時から、第3回和水町生涯学習推進大会が三加和公民館において開催されました。多くの町民の方が参加される中、年間の活動状況の発表をメインとして、親子で綴る人権標語優秀賞の表彰や特別講演「ふなやま講座」が行われました。

また、今回はコスモス学級・老人大学の閉講も兼ねて行われ、修了証・皆勤(精勤)証が授与されました。



▲入選作品を発表してくれた菊水中の菊田めぐみさん。



▲内場絹代さん（中十町）による読み聞かせ活動の発表の様子。

■親子で綴る人権標語 優秀賞受賞者・作品

学校	学年	生徒氏名（親子）	作品
三加和中学校 (応募総数) (152作品)	1年生	草野 翔太くん親子	「ごめんなさい」 その一言で 仲なおり
	2年生	神原 佐知さん親子	「大丈夫?」 そのさしのべた手は 温かい
	3年生	井島 菜緒さん親子	広げよう やさしい言葉 みんなの心に
菊水中学校 (応募総数) (171作品)	1年生	村上 晴菜さん親子	話そうよ メールつかわす 目と口で
	2年生	一森 彩夏さん親子	見つけよう 1人1人のいいところ
	3年生	石原 侑依さん親子	いじめると 相手も自分も かなしいよ

■ふなやま講座(特別講演)

講 師 渡辺 紀生(わたなべ きょう)
曹洞宗大悲山向陽寺住職
演 題 ギターと笑いのお元気説法
～人生は楽しくなくちゃ～

自己紹介から、仏教の起こりや疑問などについて楽しくおかしく話していただき、会場は笑い声でイッパイの講演となりました。



ひと足早く春を満喫…（肥後民家村ひなまつり）

3月1日（日）肥後民家村旧布施家でひなまつり会が開催されました。

当日は、春を思わせる陽気の1日で町内外からたくさんの方々が来場がありました。みなさん部屋の中の大小さまざまなおひなさまをゆっくり見学され、午後からの琴の演奏も楽しんでいました。

用意されたおひなさま弁当も完売、甘酒のふるまいにも喜んでいました。その他、絵手紙の展示、植木市、陶器市も好評でした。



▲見事なひな人形が飾られました。